中 帯 無 橋　数 量 総 括 表 (1)

種　別	規　格	細　別	単位	数量	適　用
1.橋面防水工					
舗装撤去工	コンクリート	t=6cm	m^3	74.7	
舗装復旧工	ポリマー改質Ⅱ型	AS13F　t=6cm	m^2	74.6	
防水層	シート防水		m^2	74.6	
導水パイプ		φ18	m	39.6	
ｼﾙﾊﾞｰﾒｯｼｭﾃｰﾌﾟ	幅150mm		m	39.6	
地覆削孔	φ30mm		m	3.92	
削孔部挿入PIPE	SUS304 PIPE	（片側ネジ切り）φ20mm	m	4.32	
フレキシブルチューブ	SUS304	φ20A（袋ナット付）	m	5.60	
充填ｼｰﾙ材			mml	1539	
2.伸縮装置　設置					
A1橋台	固定側・車道用		m	5.03	
A2橋台	可動側・車道用		m	5.03	
コンクリートはつり			m^3	0.58	
後打ちコンクリート	σck=24N/mm2		m^3	0.58	
アンカー筋（SD345）	D16		kg	21.20	
コンクリートアンカー	（SS400相当品）	D16用	本	160	
シール材	シリコン系		ﾘｯﾄﾙ	0.74	

数 量 総 括 表 (2)

種　別	規　格	細　別	単位	数量	適　用
３.上部工補修					
サンダーブラスト			m^2	4.33	
４.下部工補修					
サンダーブラスト			m^2	0.10	
ブラシがけ(エフロ除去)			m^2	0.12	
はつり・断面修復			m^3	0.0023	

NO. 1　橋面舗装・橋面防水層　数量計算書

項　　目	規　　格	計　算　式	単位	数　量
１）舗装撤去工				
コンクリート舗装切削撤去		A= 14.84 × 5.03	m^2	74.65
コンクリート舗装切削殻運搬		V= 74.65 × 0.06	m^3	4.48
コンクリート舗装切削殻処分		V= 4.48 × 2.35 ÷ 1.80	m^3	5.85
２）舗装復旧工				
改質アスファルトⅡ型				
	t=6cm	A= 14.84 × 5.03	m^2	74.6
３）防水層				
シート防水		A= 14.84 × 5.03	m^2	74.6
４）導水パイプ				
ﾄﾞﾚｲﾅｰⅡ	（φ18）	L= 5.00 + 14.80 + 5.00 + 14.80	m	39.60
ｼﾙﾊﾞｰﾒｯｼｭﾃｰﾌﾟ	幅150mm	L= 5.00 + 14.80 + 5.00 + 14.80	m	39.60
５）地覆削孔排水				
地覆削孔	φ30mm	L= 0.49 × 8	m	3.92
削孔部挿入PIPE				
SUS304 PIPE	φ20mm	L= 0.54 × 8	m	4.32
（片側ネジ切り）				
フレキシブルチューブ		SUS304 φ20A（袋ナット付）		
		L= 0.70 × 8	m	5.60
充填ｼｰﾙ材		V= 1 / 4 × (3^2 − 2^2) × π × 49 × 8	mml	1539
鉄筋探査		A= 0.50 × 3.92	m^2	2.0

NO. 2　伸縮装置設置　数量計算書

名　　称	規　　格	計　　算　　式	単位	数　量
コンクリートはつり		（想定）		
	A1橋台	V1＝　6.01 × 0.09 ×　0.25　＝　0.14		
	A1桁側	V2＝　5.03 × 0.09 ×　0.33　＝　0.15		
	A2橋台	V3＝　6.01 × 0.09 ×　0.25　＝　0.14		
	A2桁側	V4＝　5.03 × 0.09 ×　0.33　＝　0.15		
	計	ΣV＝ 0.14 ＋ 0.15 ＋ 0.14 ＋ 0.15	m^3	0.58
伸縮装置	CDs型－20用			
	A1橋台	固定側・車道用	m	5.03
	A2橋台	可動側・車道用	m	5.03
後打ちコンクリート	σck=24N/mm2			
	A1橋台	V1＝　6.01 × 0.09 ×　0.25　＝　0.14		
	A1桁側	V2＝　5.03 × 0.09 ×　0.33　＝　0.15		
	A2橋台	V3＝　6.01 × 0.09 ×　0.25　＝　0.14		
	A2桁側	V4＝　5.03 × 0.09 ×　0.33　＝　0.15		
	計	ΣV＝ 0.14 ＋ 0.15 ＋ 0.14 ＋ 0.15	m^3	0.58
アンカー筋（SD345）				
	A1桁側	D16 × 85		
		n =	本	40
		W = 1.560 × 0.085 ×　40	kg	5.3
	A1橋台	D16 × 85		
		n =	本	40
		W = 1.560 × 0.085 ×　40	kg	5.3
	A2桁側	D16 × 85		
		n =	本	40
		W = 1.560 × 0.085 ×　40	kg	5.3
	A2橋台	D16 × 85		
		n =	本	40
		W = 1.560 × 0.085 ×　40	kg	5.3
	計	ΣW＝ 5.3 ＋ 5.3 ＋ 5.3 ＋ 5.3	kg	21.2

コンクリートアンカー（SS400相当品）				
	A1橋台側	D16用	本	80
	A2橋台側	D16用	本	80
	計	ΣV＝　80　＋　80	本	160
シール材（シリコン系）				
	A1橋台側	25mm×15mm　L=980mm		
		V ＝ 0.025 × 0.015 × 0.980 × 1000	ﾘｯﾄﾙ	0.368
	A2橋台側	25mm×15mm　L=980mm		
		V ＝ 0.025 × 0.015 × 0.980 × 1000	ﾘｯﾄﾙ	0.368
	計	ΣV＝ 0.368 ＋ 0.368	ﾘｯﾄﾙ	0.74

NO.３,４　上部工下部工補修　数量計算書

遊離石灰(サンダーブラスト)

	横（mm）	縦（mm）	面積（mm2）
桁下面	2200	50	110000
	2500	50	125000
	3300	50	165000
	1000	50	50000
	3000	50	150000
	2200	50	110000
	3000	50	150000
	3000	50	150000
	3500	50	175000
	7250	50	362500
	1000	50	50000
	500	50	25000
	2200	50	110000
	3600	50	180000
	4500	50	225000
	900	50	45000
	1500	50	75000
	1000	50	50000
	1000	100	100000
	1700	50	85000
	4500	50	225000
	2200	50	110000
	5300	50	265000
	1500	50	75000
	900	50	45000
	4800	50	240000
	2700	50	135000
		計	3587500
桁側面下流	3000	100	300000
	2500	100	250000
	1000	100	100000
	400	100	40000
	500	100	50000
		計	740000
A1竪壁	30	250	7500
	500	150	75000
		計	82500
A2竪壁	50	350	17500
		計	17500

エフロ(ブラシがけ)

	横（mm）	縦（mm）	面積（mm2）
A1竪壁	400	300	120000
		計	120000

表面の劣化(断面修復)　厚50mm

	横（mm）	縦（mm）	面積（mm2）
A1竪壁	400	350	140000
	200	350	70000
	400	350	140000
	300	350	105000
		計	455000
		×0.05	22750

冬 期 僻 地 補 正 計 算 書

箇所名： 平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事 箕輪町 中帯無橋

計 画 ・ 実施工期 ……． 平成 28 年 12 月 12 日 ～ 平成 29 年 3 月 24 日

冬期工事適用期間 ……． 平成 28 年 12 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

寒中養生適用期間 ……． 平成 28 年 12 月 15 日 ～ 平成 29 年 3 月 15 日

1 現場管理費の補正（標準値に補正（加算）するものとするが条件が重複する場合は、最高２％とする。）

項目 / 月	全工事日数	冬期工事日数	寒中養生日数
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月			
12 月	20	20	
1 月	31	31	
2 月	28	28	
3 月	24	24	
合 計	103	103	0

a：冬期補正

区分	町 村 名	補正係数
4級地	伊那建設事務所管内全域	1.20

注）1 冬期率は少数点以下第３位で四捨五入、少数第２位とする。

2 補正率は少数点以下第３位で四捨五入、少数第２位とする。

冬期率 ＝ 103 / 103 ＝ 100 %

補正率 ＝ 冬期率 ＊ 補正係数 ＝ ＊ ＝

b： 僻地補正 （ｺﾝｸﾘｰﾄﾀﾞﾑ・ﾌｨﾙﾀﾞﾑ・CAB除く）

区分	施 工 地 域 ・ 工 事 箇 所 区 分	補正率(現場管)	補正率(共通仮)
市街地	ＤＩＤ地区	1.0	1.5
山間僻地		0.5	1.0
地方部		0.5	1.0
		0.0	0.0

補正値合計 ＝ ＋ ＝ (≦2.00%)

2 寒中ｺﾝｸﾘｰﾄ養生 対象率＝ ＝

構造物種別	計 算 式	率	数量
			m3
			m3
			m3
			m3
			m3
			m²